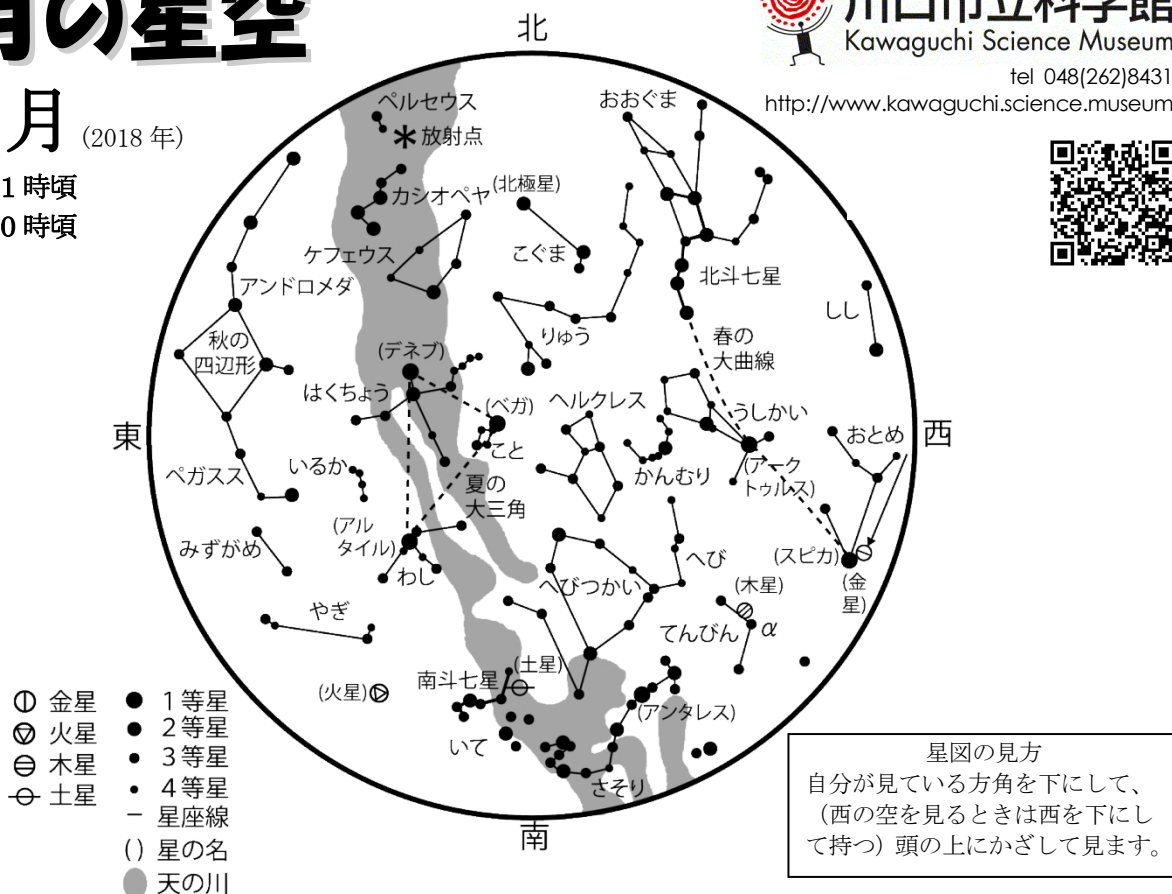


今月の星空

8月 (2018年)

上旬 21 時頃
下旬 20 時頃



月 齢 ① 下弦 5 日、● 新月 11 日、② 上弦 18 日、○ 満月 26 日

惑星情報

金星 夜のはじめ頃 西 (おとめ座 -4 等級) 木星 夜のはじめ頃 南西 (てんびん座 -2 等級)
火星 夜のはじめ頃 南東 (やぎ座 -3 → -2 等級) 土星 夜のはじめ頃 南 (いて座 0 等級)

★8月13日 ペルセウス座流星群が極大

ペルセウス座流星群は、毎年、安定して多くの流星が出現する三大流星群のひとつ。今年は月明かりのない好条件であり、以下のポイントをおさえれば、初めてのかたでも気軽に流星観察を楽しめます。

- ・極大 (今年は 13 日午前 10 時頃) に一番近い夜 (12 日の夜中から 13 日明け方まで) に見る。
- ・見える数の目安は、最も多いときで、街中で 1 時間に 5~10 個程度、空の暗い場所では 40 個程度。
- ・街灯、スマホなどの光を避けて、なるべく空の広い範囲を最低でも 15 分は見続ける。
- ・事前準備…空が広く見える安全な場所を探す。虫よけや冷え込み対策。横になれるシートなど。

ワンポイント～放射点と流星の関係～

流星群の流星は、放射点と呼ばれる星空のある一点 (今回はペルセウス座にある) を中心に四方八方に飛び出すように見え、放射点が高く昇るほど多く出現します。今回の放射点は、午後 9 時頃に北東から昇り、午前 0 時で高度 35 度付近、午前 3 時で 60 度付近にあり、明け方にかけて高くなります。また、放射点に近い場所では軌跡の短い流星が多く、放射点から離れた場所では軌跡の長い流星が多く見られます。

★4 惑星と夏の星座の星たち

今年の夏の夜空には同時に 4 つの惑星 (星図参照) が見えるため大変にぎやかです。これらの惑星を目印にして普段は見つけづらい星を見つけてみましょう。木星のすぐ近くには、てんびん座の α 星 (3 等級) があります。この星は、ズベン・エル・グヌビ (アラビア語で「南のつめ」の意) と呼ばれます。この名は、かつてはてんびん座が隣のさそり座の一部で、さそりのはさみが描かれていた場所であった名残です。また、土星の近くには、南斗六星 (2~4 等級) という北斗七星に似た星の並びがあります。

ワンポイント～惑星と恒星の見分け方～

恒星 (星座の星) と惑星は、その星が瞬 (またた) いているかどうかで見分けられます。恒星は地球大気のゆらぎの影響を受けて瞬くのに対して、惑星は瞬きません。これは、恒星が点光源であるのに対して、惑星は面積があり、大気の影響を受けにくいからです。